

# 福井地裁の高浜原発仮処分 取り消しは なっとくできない



2015年4月、福井地裁の樋口英明裁判長は、人格権を侵害される具体的危険性の存在を認め、高浜原発3・4号機に対する運転差し止め仮処分を決定しました。ところが、それからわずか8か月後の12月24日、同じ福井地裁の林潤裁判長が、これを取り消しました。また、同日、大飯原発運転差し止め仮処分申し立てについても却下しました。

この間の動きを見てみましょう。樋口裁判長は名古屋家裁に異動になり、最高裁は林潤裁判官を含む3人の裁判官を派遣しました。

関西電力は異議を申し立て、異議審の終結を待たずに準備を進めていました。それは原子力委員会田中委員長の12月22日の発言で明らかです。原子力規制委員会・田中委員長は「（高浜再稼働について）もう規制委員会としてすべきことは大体済んでいるのですね。」「24日か

2016年1月8日

**STOP原子力★関電包囲行動**

毎週金曜日 午前11時から夜7時半くらいまで

ご都合のよい時間に来てね！

<http://stop-kanden.seesaa.net/>



ら燃料装荷の準備に入って、年末年始にかけて燃料装荷を進めるというふう聞いています。そのために、私どもの検査官も年末年始返上の体制をとるということで、今、準備しています」と発言しています。

つまり4月の運転差し止め決定を全く無視して、関電の日程に合わせ適合性審査をし続けていたのです。

地元、福井県では、12月17日、県議会で関西電力高浜原発3・4号機の再稼働を認める決議案を可決。続いて12月22日に西川福井県知事が同意しました。24日の決定を待ってから県議会も県知事もどうすべきか判断しても良かったはず。まるで、関電の意向にあわせたかのような一連の動きです。また、30キロ圏内の自治体、滋賀県や京都府の自治体の意見は無視されたまま高浜町長や福井県知事だけで決めるのは問題です。

樋口英明裁判長が、「新規制基準は、緩やかにすぎ、これに適合しても本件原発の安全性は確保されていない。」と判断した通り、新規制基準は原発の「安全」を保証するものではありません。

西川福井県知事知事も、安全確保は事業者の責務、事業者の規制は国の責務、県は監視するだけとしています。

関電は高浜3号機を1月28日にも動かす予定です。事故が起きた時の責任は誰が取るのか！？それも決めないままの再稼働は無責任の極みです。東京電力福島第一原発の事故の責任は誰がとりましたか？誰もとっていないし、取れるはずありません。一刻もはやく原発を廃炉に！電力会社と国に原発廃炉を受け入れさせましょう。



↑ 12月24日 福井地裁前

↓ 12月24日 関電東京支社前での抗議行動



# 風力の発電能力、初めて原発抜く コスト減、普及後押し

(15年12月29日 朝日新聞)

世界の風力発電施設の発電能力は今年、4億キロワットを超え、原発を初めて上回ることがわかった。発電コストが大幅に下がり、普及を後押ししている。今月の国連気候変動会議（COP21）で採択された「パリ協定」に基づき各国は温暖化対策として再生可能エネルギーを増やす方針を示しており、風力発電もさらに拡大しそうだ。

風が吹く時にだけ発電する風力は稼働率が30%程度で、80%近い原発に比べ実際の発電量は約3分の1程度とみられる。ただ、世界風力エネルギー協会（WWEA）は、風力の発電能力が2030年には20億キロワットに達すると見込む。いまの傾向が続けば、発電量でも風力が原発を超える可能性がある。

WWEAの6月末時点の集計で風力の発電能力は3億9293万キロワット。風力発電の専門誌「ウィンドパワー・マンスリー」が27日に発表した今年末時点の見通しでは、4億1496万キロワットに達するという。一方、世界原子力協会によると、原発は12月1日時点で3億8225万キロワットとなっている。

同誌によれば、国別で今年最も風力発電施設を増やしたのは中国で、1932万キロワット。次いで米国594万キロワット、ドイツ385万キロワット、インド314万キロワットの順となっている。日本の増加は6.4万キロワットだった。

市場の拡大と技術革新によって風力の発電コストは下がってきている。国際再生可能エネルギー機関（IRENA）によると、昨年は1キロワット時あたり6～9セント（約7～11円）で、火力発電の4.5～14セントと並んでいる。（以上転載終わり）



**原発がなくても電気は大丈夫  
原発はいりません**

## 「原発の電気」とはさようなら～

今年4月から電力自由化によって、私たち消費者が電力会社を選べるようになる。

作家の広瀬隆さんの話によれば、現在、火力発電は天然ガスを使った「ガスコンバインドサイクル発電」に移行している。熱効率がいいからだ。「新電力」といわれるガス会社などがこれを使って、新規参入をはかっている。2016年の自由化で、消費者は東電などをやめて「新電力」から電気を購入すれば「原発の電気」とさよならできるのである。

では実際、「新電力」のどこを選べばいいのだろうか。原発の電気をつかっていないことがはっきりしているメーカーはどこか？

宣伝するわけではないが、関西では大阪ガスが風力、火力、太陽光で発電を行っている。もう電気料金のシュミレーションもできるので、試してみてもはどうだろうか。

### 広瀬さん推奨のメーカー（2015年11月28日時点）

《2015年10月8日時点で登録された40社のうち》

【推奨】エネット（東京ガス・大阪ガス・NTTファシリティーズの子会社）昭和シェル石油、東燃ゼネラル石油、静岡ガス&パワー、出光グリーンパワー、新出光、中央セントラルガス、北海道瓦斯

《追加登録会社のうち》

【推奨】大阪瓦斯、JX日鉱日石エネルギー、

## お知らせ

高浜原発再稼働を許さない！1・24全国集会

日時：1月24日（日）午後2時～

場所：福井県高浜町文化会館ホール

（800人収容）

※集会後デモ